

森繁久弥さん死去

映画、舞台で活躍

96歳「屋根の上」上演900回

映画、舞台、テレビなどで幅広く活躍した日本を代表する俳優で、大衆芸能の分野で初の文化勲章を受章した森繁久弥（もりしげ・ひさや）さんが十日午前八時十六分、老衰のため東京都内の病院で死去した。九十六歳。大阪府出身。葬儀・告別式の日取り、喪主などは未定。

長い下積み生活を経て、戦後映画界入り。人情ものの傑作「夫婦善哉」（一九五五年）では金持ちのぐうたら息子を味わい深く演じ、「社長」シリーズ、「駅前」シリーズなどで卓越した喜劇俳優ぶりを示し、人気を得た。

森繁久弥さん

舞台ではミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」が上演九百回を達成。「七人の孫」などのテレビドラマやラジオ番組でも人気を集める一方、自ら作詞・作曲した「知床旅情」などをヒットさせた。九一年に文化勲章。著書に「森繁自伝」など。

2009年11月10日発行